

悪性リンパ腫解析検査 (MLA)CD45 ゲーティング		P000028			
		担当部署			
ML フローサイトメトリー		病理			
検査オーダー					
患者同意に関する要求事項		該当なし			
オーダーリング手順	1	電子カルテ→指示①→検査→分野別→染色体→			
	2				
	3				
	4				
	5				
検査に影響する臨床情報		採取後 1 日以上経過したもの			
検査受付時間		8 : 15 ~ 16 : 00			
検体採取・搬送・保存					
患者の事前準備事項		手術、及び内視鏡、穿刺等の侵襲的検体採取では様々な準備が必要となるため、各々の担当医師、担当看護師等の指示に従う。			
検体採取の特別なタイミング		疾患診断時			
検体の種類		採取管名	内容物	採取量	単位
1	新鮮組織 (未固定)	H00	RPMI-1640 FBS 硫酸カナマイシン ノボヘパリン Na 炭酸水素 Na HEPES	5×5×5	mm
2	新鮮組織 (未固定)	H20	FBS PBS 硫酸カナマイシン	5×5×5	mm
3					
4					
5					
6					
7					
8					
検体搬送条件		冷蔵			
検体受入不可基準		オーダーがない。			
保管検体の保存期間		保存不可。 受託可能日は月～金曜日で採取後速やかに提出			
検査結果・報告					

検査室の所在地		病院棟 3 階 病理診断科				
測定時間		2～4 日				
生物学的基準範囲		該当なし				
臨床判断値		図式化し報告				
基準値					単位	該当なし
共通低値	共通高値	男性低値	男性高値	女性低値	女性高値	
該当なし	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし	
パニック値	高値	該当なし				
	低値	該当なし				
生理的変動要因		該当なし				
臨床的意義		<p>悪性リンパ腫分類においては,LSG 分類等の形態学による分類が中心でしたが,1994 年に腫瘍発生母地に基づく REAL 分類が提唱されて以来,免疫学的表現型(表面マーカー)に解析も取り入れられて,欧米を中心に普及・定着していきます。本検査は,REAL 分類に基づき,CD45-SSC ゲーティング法により,多数の表面マーカーを用い迅速かつ客観的に解析できることから,悪性リンパ腫の分類・診断において有用と考えられます。</p>				